

あさひ



旭川市立朝日小学校
開校記念日 特別号

平成25年8月31日

明日(9月1日)は、旭川市立朝日小学校の 105回目の誕生日です。

朝日小学校は、明治41年4月1日に上川第四尋常小学校として開校しました。

この頃ころの校舎は、6条通り15丁目にあり平屋の木造作りの校舎でした。

校章は、今とは違って、6つのペン先の型の中央に「四」の

文字が配されていました。

開校当時は、8学級に475名の子どもたちが学んでいました。実

は、6条通り14丁目にあった上川第二尋常小学校(後の大成小

学校)の児童数が多くなり、明治40年5月に6条通り15丁目に校

舎を作り441名の児童が移動しました。その学校を翌年、上川第四尋常小学校として開

校したのです。

大正7年4月(開校10年目)、学校名を旭川区朝日尋常小学校と改称しました。開校

当時、学校所在地が旭川市の最東部に位置し、北海道の山「大雪山連峰」から朝日が昇る

ごとく、元気はつらつとした子どもが育つことを願って『朝日』という校名にしたそうです。学

校名が変わったことから、5月に校章を(現在のもの)を制定しました。

図案考案者は、羽田四郎訓導です。

「校紋は校名に因み、それに金鷄を配し、元気あるものの瑞

祥あるものを以て表示す」(校章は、朝日という校名にちなみ、

中央に「朝日」を、それに「金の鷲」を配したもので、喜ばしい兆

しのあるものを示しています)

上川第四尋常小学校校章



明治41年～大正7年3月



きんし きんいろ じんむてんのう ゆみ てきぐん かがや め くら てきぐん
* 金鷄とは、金色のトビが神武天皇の弓にとまり、敵軍がその輝きに目が眩み、敵軍
しょうり しんわ でんせつ で きんいろ にほんしよき
に勝利したという神話・伝説に出てくる金色のトビです。(日本書紀)

たいしやう ねん がつ あさひかわく じやうどおり じやうどおり ちやうめ げんざい ぼしよ にかいだ もくぞう
大正10年9月には、旭川区5条通6条通21丁目(現在の場所)に2階建て木造の
こうしや しんちく にだいま こうしや いてん ころ がつきゆう じどうすう めい こ
校舎を新築(二代目の校舎)し移転しました。この頃は、24学級で児童数は1500名を超
えていました。

たいしやう ねん こうか せいてい
大正13年5月には、校歌を制定しました。

しょうわ ねん がつ
昭和4年1月には、

けいめいしょうがつこう かいこう
啓明小学校が開校し、

じどう めい いどう
児童487名が移動しま

した。というのも、しょうわ
昭和

ねん あさひしょうがつこう
3年には、朝日小学校

は、がつきゆう やく
38学級で約2500

めい じどう まな
名の児童が学んでいる

だいきぼこう
大規模校となっていた

ため、これ以上 教室

がないという状況だっ

たのです。

しょうわ ねん がつ こうめい あさひこくみんがつこう かいしやう
昭和16年4月、校名を朝日国民学校と改称しました。

しょうわ ねん がつ ろくさんせいじつし あさひかわしりつあさひしょうがつこう かいしやう
昭和22年4月には、六三制実施により旭川市立朝日小学校と改称しました。

しょうわ ねん がつ しんせいちゆうがつこう あさひかわしりつだいいんちゆうがつこう がつきゆう めい へいち
昭和22年5月には、新制中学校(旭川市立第四中学校)5学級(301名)を併置しま

あさひかわしりつだいいんちゆうがつこう しょうわ ねん がつ あさひかわだいなちゆうがつこう にっしんしょうへいち どうこう
した。旭川市立第四中学校は、昭和23年4月に旭川第七中学校(日新小併置)と統合

こうやうちゆうがつこう かいこう
し、光陽中学校として開校しました。

朝日小学校々歌

作詞 木原 百太郎
作曲 工藤 富次郎

1. え きーよき こしすめ の いしーかよ の
な が れ に く ら べ に おおしえさき
あさひが だげみ て きも おい つに
まなびの みちなら すまな ん

しょうわ ねん がつ けつせい あさ ひ しょうがっこう たいしょう ねん がつ にち きょういく
昭和23年4月、PTAが結成されました。(朝日小学校では、大正6年5月21日に教育

こうえんかい せつりつ しょうわ ねん がつ こうえんかい かいさん せつりつ じゅん び
後援会が設立されており、昭和22年5月に後援会の解散にともないPTA設立の準備がな
されていきました)

しょうわ ねん がつ ひがしまちしょうがっこう かいこう じ どう めい い どう
昭和29年9月には、東町小学校が開校され、児童220名が移動しました。

しょうわ ねん がつ よう ご びょうじやく がつきゅう せつち じ どうすう めい
昭和31年9月、養護(病弱)学級が設置されました。(児童数17名)

しょうわ ねん がつ つうがく くいき へんこう めい ひがしまちしょうがっこう い どう
昭和31年11月に、通学区域の変更によって、268名が東町小学校に移動しました。

ぜんねん しょうわ ねん がつきゅうすう がつきゅう じ どうすう めい こ
前年の昭和30年の学級数は36学級で児童数は、1800名を超えていました。

かんぜんきゅうしょく かいし
また、完全給食も開始されました。

しょうわ ねん がつ きゅうしょく ぜんこくひょうしょう じゅしやう がくねんべつ し どうけいかくひやう さく
昭和39年10月には、給食の全国表彰を受賞しました。(学年別指導計画表の作

せい こんだてこくばん せつち きゅうしょく はいふ けいはつ きゅうしょくがくしゅう じ かん はいどう ないやう
成、献立黒板の設置、給食だよりの配布による啓発、給食学習時間の配当と内容)

しょうわ ねん がつ こうしゃかいちくこう
昭和39年12月には校舎改築工

じ かんりやう さんだい め こう
事が完了しました。(三代目の校
舎)

しょうわ ねん がつ かいちくこう じ
* 昭和31年11月に改築工事が

かいし かんせい ねん さい
開始され、完成までほぼ10年の歳
げつ
月となりました。

しょうわ ねん がつ とよおかしやうがっこう
昭和41年10月、豊岡小学校

かいこう じ どう めい い どう
の開校にともない児童51名が移動
しました。

かいこう しゅうねん しょうわ ねん がつ
開校70周年の昭和53年7月、

がくえん か あさひ おん ど せいいてい
学園歌「朝日音頭」を制定しました。

学園歌「朝日音頭」

〈昭和53年7月制定〉

高橋 恒雄(4年) 作詞
田辺 富子(5年) 作曲
佐藤 晴美(5年)

(♩ = 100~105)

1. あさひの こどもが あつまれば なんにも
おそれる ことはない グランド プール
たい いく かん どこ から どこまで あおぞら
さ ほくら は みんなー あさひの こ

「朝日音頭」

- 一、朝日の子どもが集まれば
なんにもおそれることはない
グランド プール 体育館
どこからどこまで青空さ
ほくらはみんな朝日の子
 - 二、朝日の子どもが集まれば
『伸びゆく広場』がはじまるぞ
くりの木 おんこ ナナカマド
夢がいつばい はずむ声
みんなながまさ友だちさ
 - 三、朝日の子どもが集まれば
大きな力がわいてくる
国算社理 ドンとこい
『本気で元気で根気よく』
みんななかよく手をつなごう
- 補詞 教諭 川原良昌
補曲 教諭 松浦欣也

へいせい ねん がつ こうしやかいちくこうじらくせい よんだい め こうしや げんざい
平成4年7月～校舎改築工事落成(四代目校舎:現在)



あさひ しょうがっこう しょう わ ねんだい こんにち つね もんぶ か がくしやう かみかわきやういくきやく けんきゆう
朝日小学校は、昭和40年代から今日まで常に、文部科学省や上川教育局の研究
していこう せつきよくてき う どうじ さいせんたん きやういく あ かた けんきゆう ぜんどう ぜんこく
指定校を積極的に受け、その当時の最先端の教育の在り方について研究し、全道・全国
へと発信し続けています。

また、105年の歴史の中で、16906名にも上
る卒業生を排出し、各界各層で活躍しています。

朝日小学校は、これからも「本気で元気で根気
よく」の校訓のもと、朝日しぐさ・朝日構えを身に付
けた優秀な人財をはぐくみ、そして発展していきま
す。



校旗